

第 6 回策定委員会の意見等への対応


(犬山市都市計画マスタープラン及び犬山市緑の基本計画 (素案) への対応)

通番	意見等 (要旨)	対応方針・考え方	備考
犬山市都市計画マスタープラン (素案)			
1	P7,8 のコンパクトプラスネットワークや居心地が良く歩きたくなるまちなかについて、犬山らしさや特徴を取り入れ、都市の魅力を出していくようなことをもう少し表現しても良いと感じる。	犬山市の特徴を活かした取り組みの必要性を表現に追記しました。	都 P7, 8
2	SDGs の出典は記載しなくてよいか。	出典を追記しました。	都 P10
3	P43 基本理念の文章について、犬山市は訪れたいまちづくりを進めているので、そういった機能を含めたほうがよいと感じる。	「交流」や「行きたい」という表現を追記しました。	都 P43
犬山市緑の基本計画 (素案)			
4	P53 総合的な緑の配置方針図について、市街化区域の赤枠をしっかりと囲ったほうが良い。また、着色がないところがどんな位置づけなのか、将来像を踏まえて定義づけみたいなのがわかるようになるとよい。	市街化区域の境界 (赤枠) 及び着色がない部分に色を付けて、凡例に追加しました。また、凡例の森林、農地、市街地等に定義を追記しました。	都 P66 緑 P53
犬山市立地適正化計画 居住誘導区域 (案)			
5	都市マスの検討の中で、出来れば、家屋倒壊等氾濫想定区域も加えると現状や対策が見えてくるのではないかと。やはりこの部分を都市マス、地域別検討でもいれていただき、率先して逃げなければならない場所として追記を検討してほしい。	犬山市都市計画マスタープラン (素案) の現況及び基本的課題の整理、都市防災の方針、地域別構想において、家屋倒壊等氾濫想定区域に関する記述を追記しました。なお、地域別構想については、木曾川沿いの市街地等で当該区域が広範囲に及ぶ犬山、城東 (栗栖地区) に対する方針を明記しました。	都 P40, 41, 73, 74, 80, 86, 89, 95, 101, 104, 111, 125, 141

備考欄 都=犬山市都市計画マスタープラン (素案)
緑=犬山市緑の基本計画 (素案)

犬山市都市計画マスタープラン (素案)

差し替えページ

 = 修正箇所

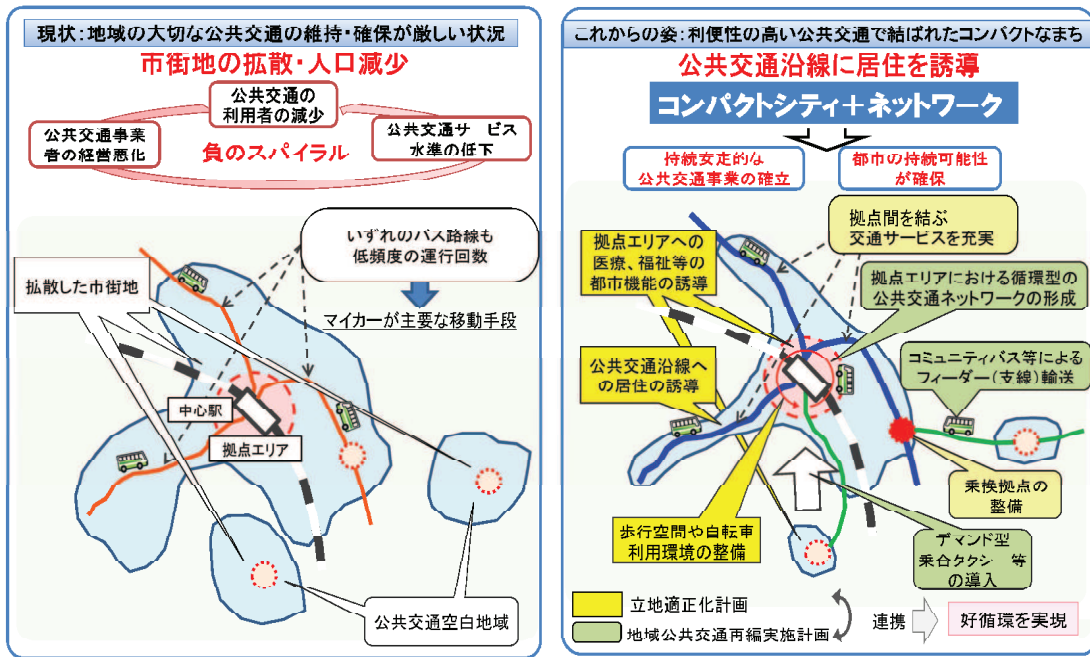
(白紙ページ)

6 まちづくりの潮流

1) コンパクト・プラス・ネットワーク

薄く広がった市街地を抱えたまま、今後人口が減少すると、医療、商業等の生活サービス施設や公共交通を維持することが困難となり、歩いて又は公共交通で日常生活を営むことが困難になるおそれがあります。このため、「居住を公共交通沿線や日常生活の拠点に緩やかに誘導する」、「居住と生活サービス施設との距離を短縮することにより、市民生活利便性を向上する」等、人口減少を見据えたコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを進めることが求められます。

本市においては、市内3路線7つある鉄道駅が市街地や郊外拠点、観光地を結ぶ交通結節機能として、市民生活や来訪者の広域的な交流を中心的に支えており、この強みを活かした持続可能な都市づくりを進めることが求められます。



■図 コンパクト・プラス・ネットワークのイメージ
 (出典：国土交通省「立地適正化計画作成の手引き」)



■図 コンパクト・プラス・ネットワークのねらい
 (出典：国土交通省資料)

2) 居心地が良く歩きたくなるまちなか

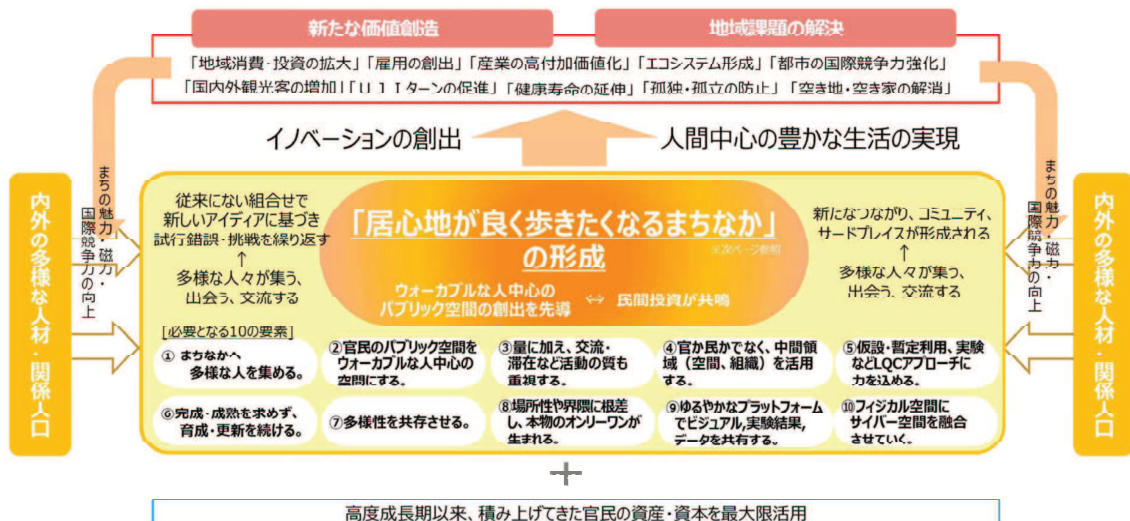
人口減少や少子高齢化が進み、地域の活力の低下が懸念される中、都市の魅力向上させ、まちなかにぎわいを創出するため、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を形成し、多くの人材の出会いと交流により、地域の消費と投資、雇用を生み出すことで、豊かで成熟した生活を実現する「都市空間」へと再生していくことが求められます。

本市の中心市街地は、多くの市民、来訪者が利用する犬山駅をはじめ、県内屈指の観光地である犬山城下町が位置しており、多様な交流と犬山城や木曾川といった歴史や自然を活かした、暮らしやすく、居心地がよい、出かけたくなるまちなかを形成することが求められます。



■図 居心地が良く歩きたくなるまちなかのイメージ

(出典：国土交通省資料都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会中間とりまとめ (令和元年6月))



■図 今後のまちづくりの方向性と「10の構成要素」

(出典：国土交通省資料都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会中間とりまとめ (令和元年6月))

4) 持続可能な開発目標 (SDGs)

平成 27 年 (2015 年) に開催された「国連持続可能な開発サミット」において、誰一人取り残さない社会の実現を目指し、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が採択され、17 の目標と 169 のターゲットからなる「持続可能な開発目標 (SDGs)」が掲げられました。この SDGs は、発展途上国のみならず、先進国も含め全ての国に適用される普遍的な目標であり、我が国においても、この目標達成に向けた取組の方針が示されています。こうした国の動きと連携して持続可能なまちづくりを進めることが求められます。



■図 SDGs の 17 の目標

(出典：国際連合広報センターウェブサイト)

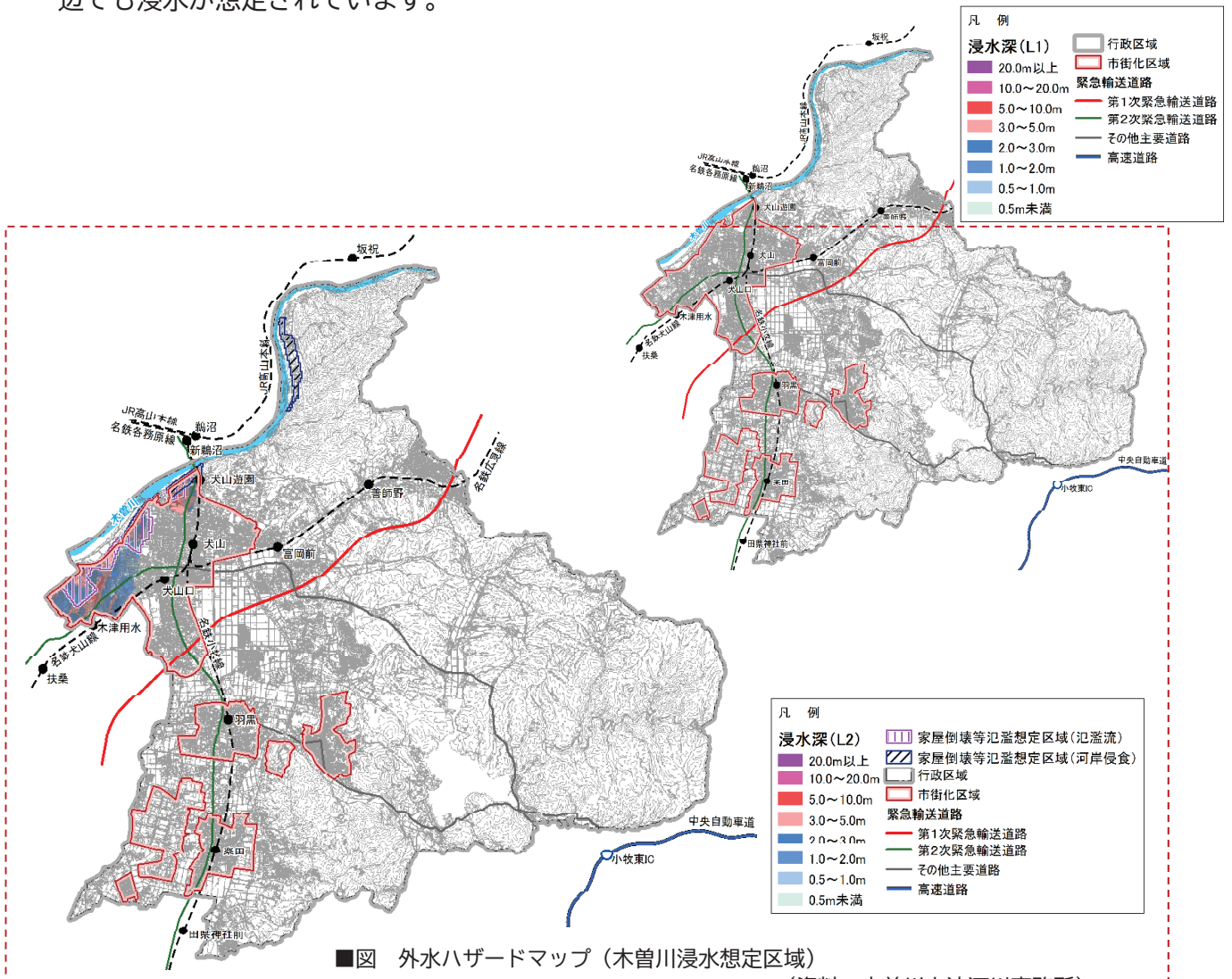
6 都市防災の視点

■ 基本的課題

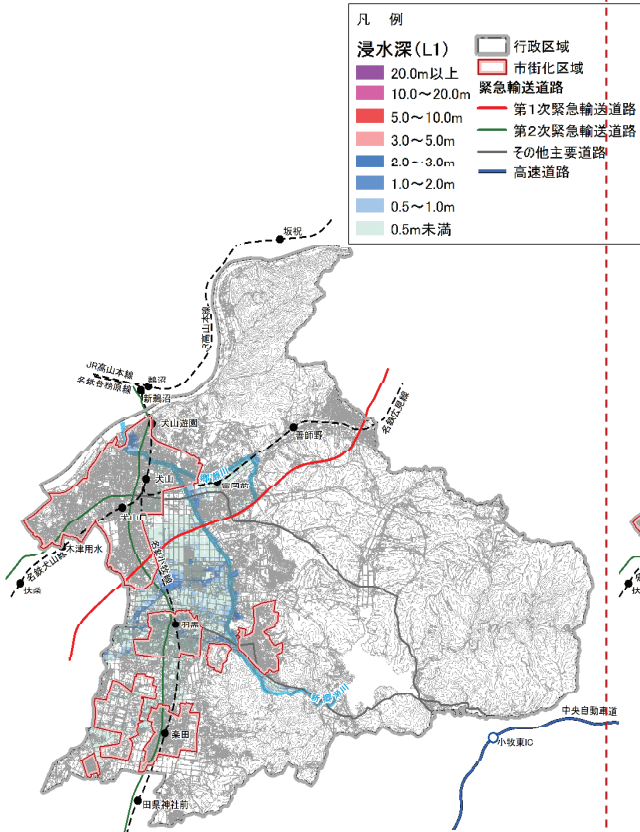
- 市街地などの防災性向上・安全性確保
- 想定される災害に対応した地域の避難体制の強化

① 水災害

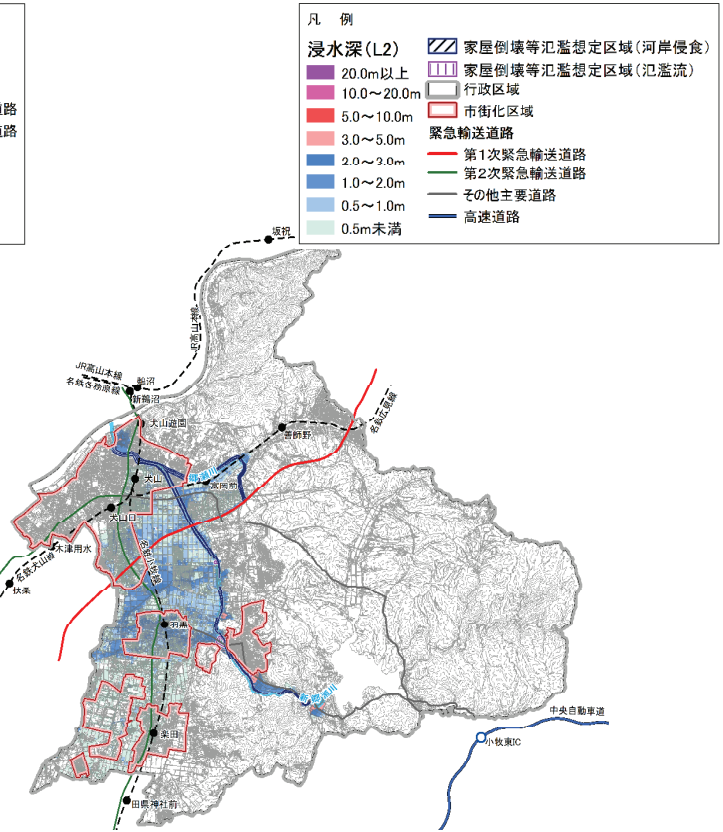
- ・ 本市における木曾川の洪水による浸水は、計画規模（L1）では想定されていないものの、想定最大規模（L2）では犬山遊園駅の西側と木津用水駅の北側地域で浸水が想定され、浸水深が5mを越える箇所もみられます。また、木曾川沿いの市街地や栗栖地区の集落地において、洪水による家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食・氾濫流）が広範囲に及んでおり、多くの家屋で倒壊等が懸念されます。
- ・ 郷瀬川・新郷瀬川の洪水による浸水は、計画規模（L1）、想定最大規模（L2）ともに、本市西部の農地が広がる地域や羽黒駅周辺のほか、犬山駅や犬山口駅、犬山遊園駅周辺でも浸水が想定されます。
- ・ 新川流域の河川における本市の浸水は、計画規模（L1）では半ノ木川や五条川沿いの農地周辺で浸水が想定され、想定最大規模（L2）では、さらに橋爪・五郎丸地区や楽田地区の市街地周辺でも浸水が想定されています。



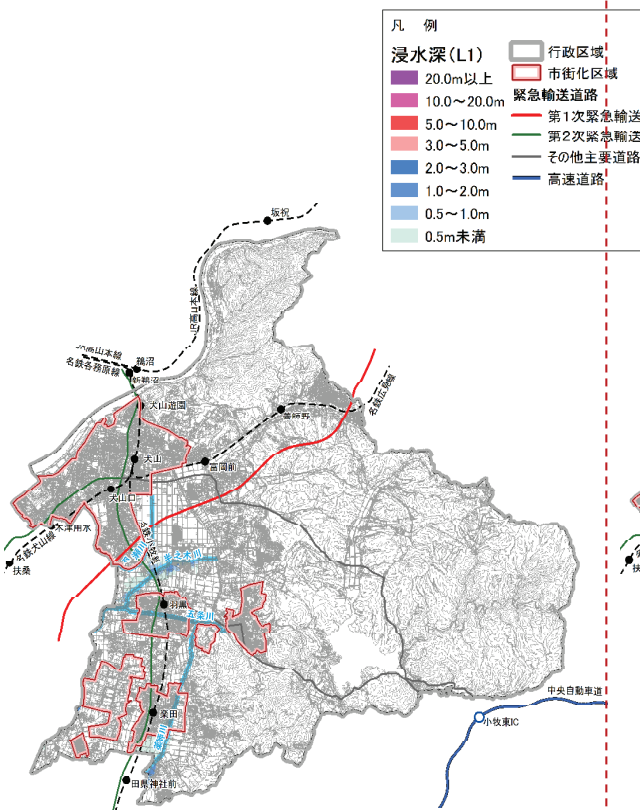
（資料：木曾川上流河川事務所）



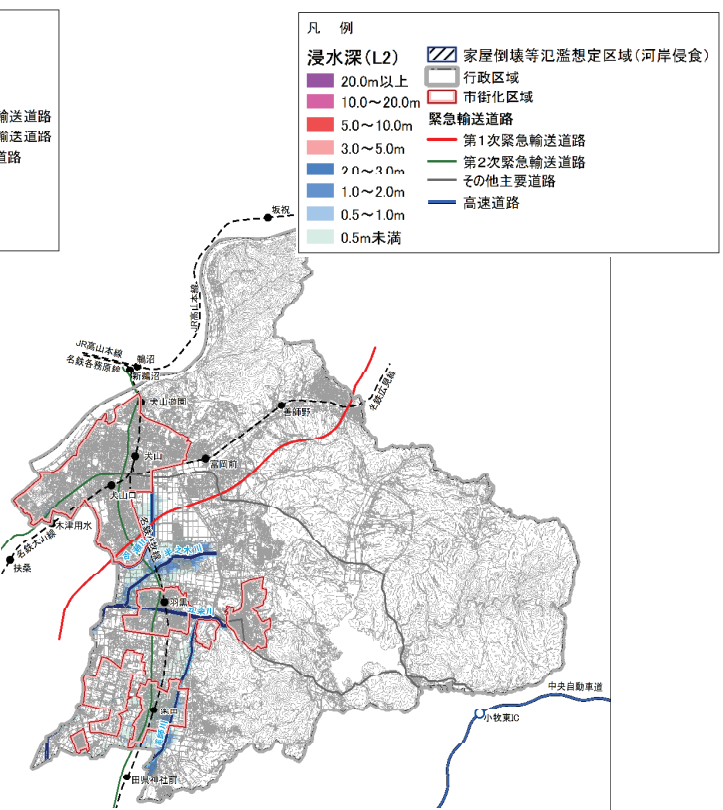
■図 外水ハザードマップ（郷瀬川・新郷瀬川浸水想定区域）



(資料：愛知県河川課)



■図 外水ハザードマップ（新川流域浸水想定区域）



(資料：愛知県河川課)

第4章 都市づくりの基本理念と目標

1 都市づくりの基本理念

本市のまちの将来像は、第6次犬山市総合計画（策定中）において『水と緑と伝統 みんなつながり みんなうるおう 豊かさ実感都市 犬山』と定められており、この理念とともに、上位計画である尾張都市計画区域マスタープランや市民アンケートによる将来のまちのイメージを踏まえつつ、本計画における都市づくりの基本理念を以下のとおり定めます。

尾張都市計画区域マスタープラン	第6次犬山市総合計画（案）	市民アンケート
基本理念	まちの将来像	将来のまちのイメージ
広域からヒトやモノが集まるとともに、歩いて暮らせる身近な生活圏が形成された都市づくり	水と緑と伝統 みんなつながり みんなうるおう 豊かさ実感都市 犬山	第1位 「歩いて行ける範囲に生活に必要な施設が充実したまち（63.7%）」 第2位 「防災・防犯に優れた安心安全に暮らせるまち（46.2%）」 第3位 「子ども、高齢者、障がい者にやさしいまち（35.4%）」

都市づくりの基本理念

安心で快適な暮らしを支え 多様な『住まい方』『働き方』を実現する 人中心の都市づくり

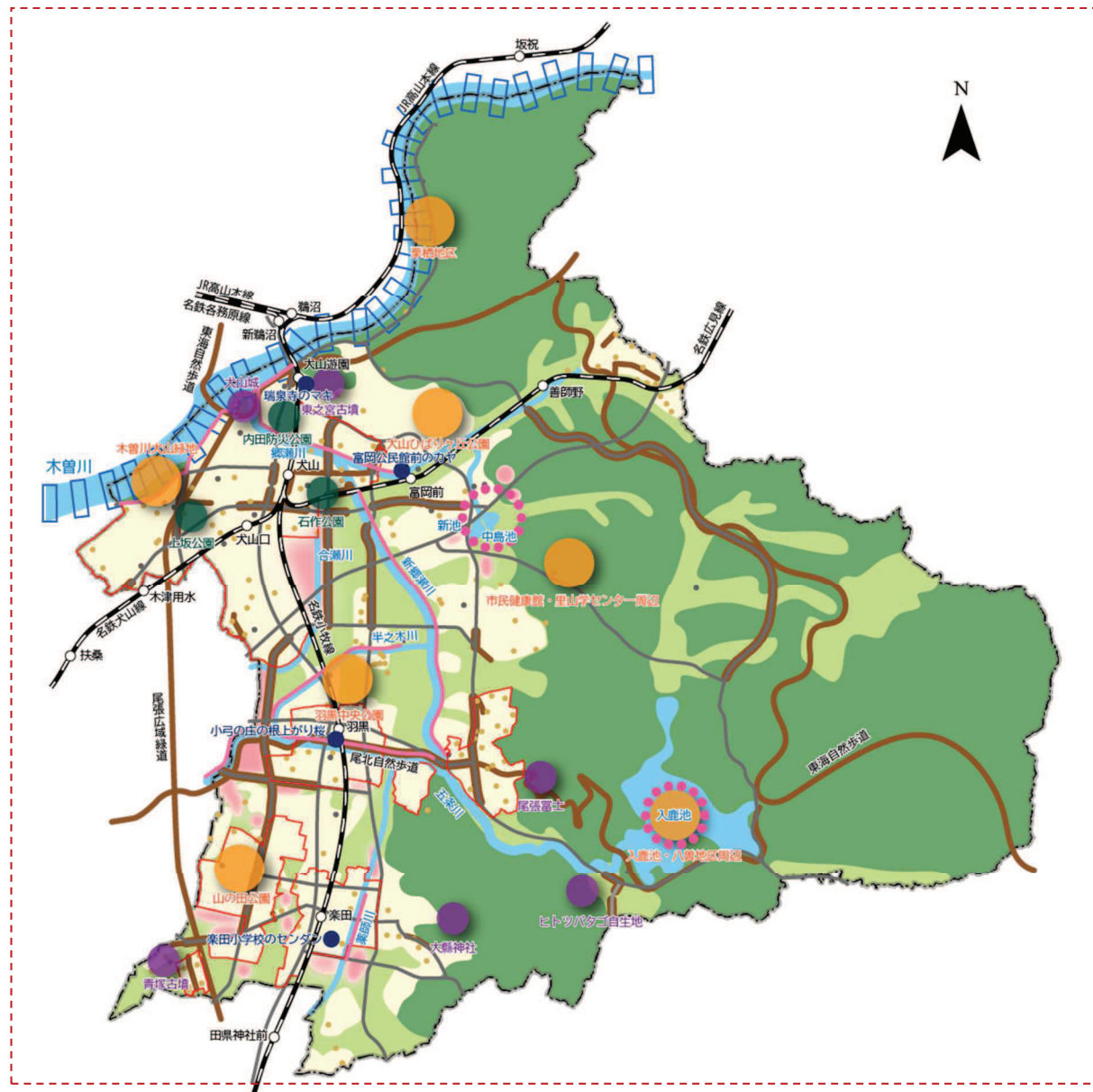
都市を取り巻く環境は、人口減少が本格的に進展する中、気候変動に伴う自然災害の激甚化、新型コロナウイルスのまん延など日常の暮らしに目まぐるしい変化をもたらしています。

また、社会経済においては、ICTがより身近になり、新技術が多く生まれるなど都市づくりの面においても多様化した価値観とポストコロナ時代に応じた新しい住まい方、働き方への対応も必要となります。

今後は、人口減少や災害への対応、地域経済の活性化をはじめ、自然や歴史文化などの犬山らしさを活かした新たな価値の創出、歩いて暮らせる身近な生活圏の構築やカーボンニュートラル、SDGsの実現など持続可能な都市づくりを基本として、人が都市づくりの中心となることを念頭に、多様で豊かなヒト、モノ、コトのつながりや交流を通じて、誰もが安心して快適に暮らすことができ、誰もが行きたい、住みたい、働きたいと思う都市『犬山』を目指します。

④緑化

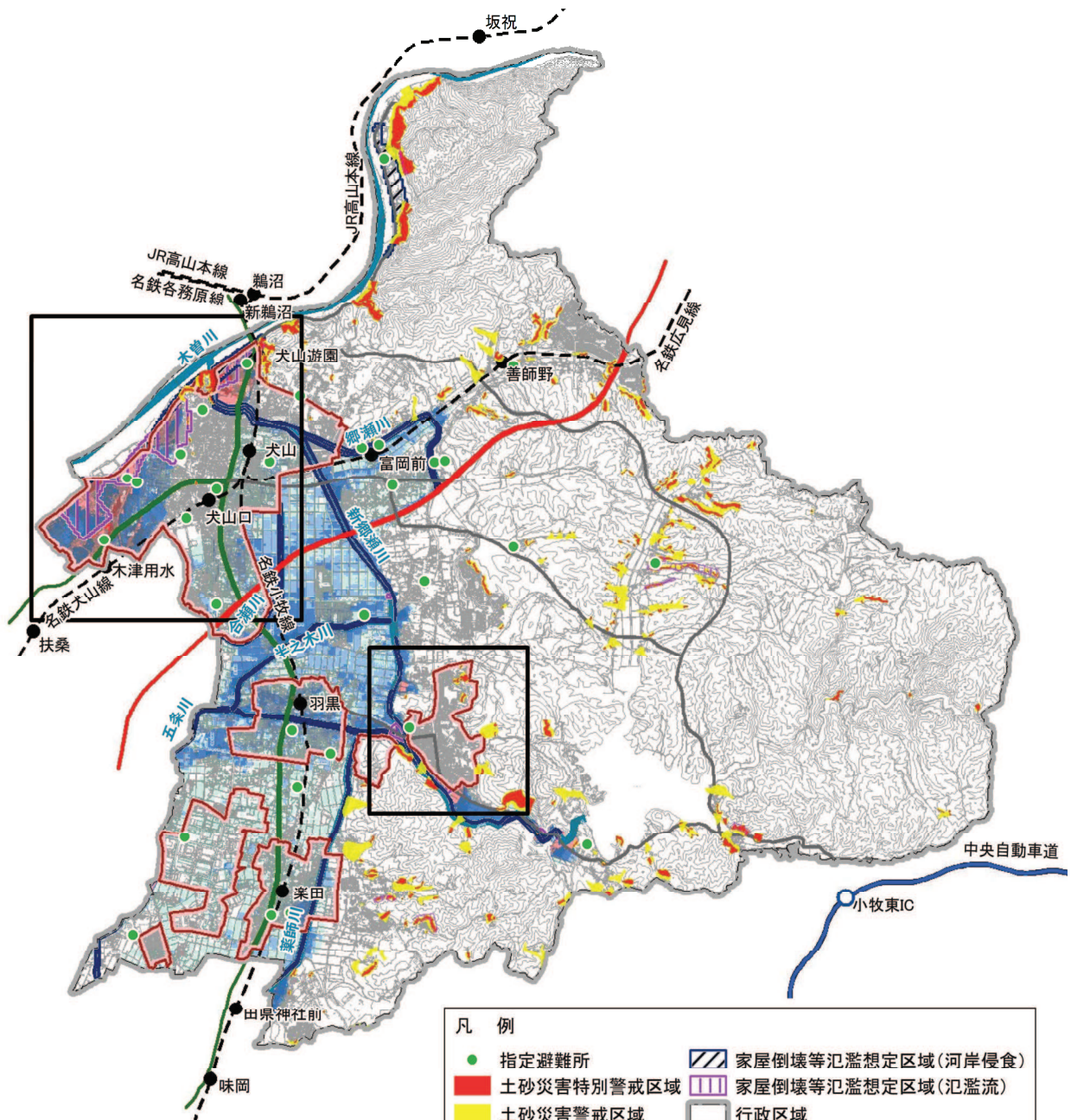
- ・ 公共施設の緑を管理・保全し低炭素化の取り組みを進めます。
- ・ 住宅や工場、事業所などの生活に身近な緑の充実を図るとともに、規模の大きな住宅地や工業地の開発にあたっては、地区計画制度を活用するなど緑化の推進を図り、環境負荷の少ない都市の実現に向けた啓発を推進します。



骨格となる緑		拠点を形成する緑		水と緑のネットワーク	
木曾川	森林等 (東部の丘陵地に広がる緑)	自然・レクリエーション拠点	桜の拠点	主な河川軸	市街化区域
農地等 (まとまりある農地を中心とした緑)	主要な緑の拠点	主要な緑の拠点	主要な緑の拠点	主な桜並木	鉄道・駅
市街地等 (まちなかや集落地等の中にある緑)	代表的な歴史文化資源	代表的な歴史文化資源	代表的な歴史文化資源	遊歩道や街路樹のある道路	主要道路
土地利用検討エリア	景観重要樹木	景観重要樹木	景観重要樹木		行政区域
	その他の公園、児童遊園等	その他の公園、児童遊園等	その他の公園、児童遊園等		
	指定避難所	指定避難所	指定避難所		

■図 緑の配置方針図

(資料：犬山市)



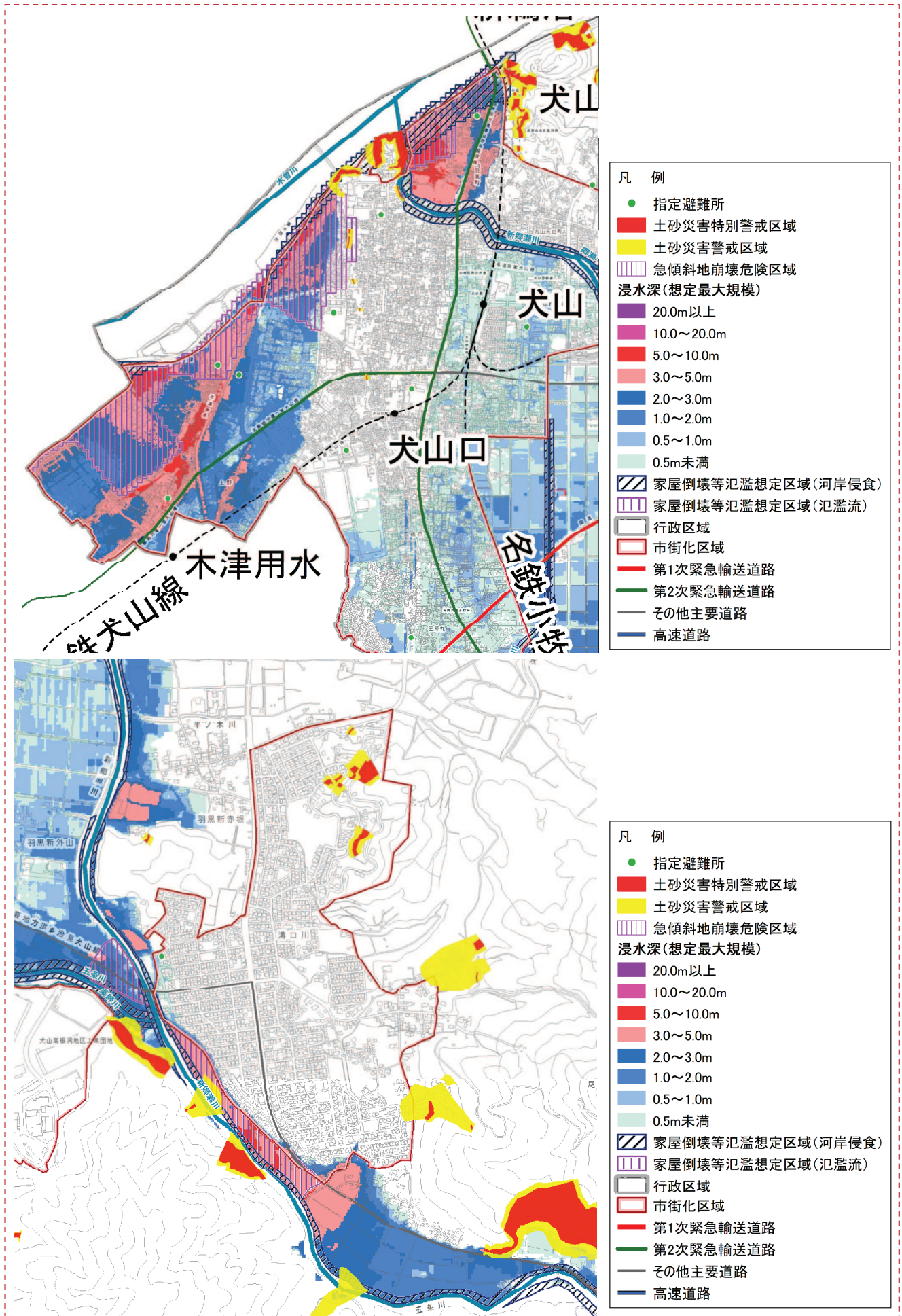
次ページに拡大図

凡 例	
● 指定避難所	家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
■ 土砂災害特別警戒区域	家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
■ 土砂災害警戒区域	行政区域
■ 急傾斜地崩壊危険区域	市街化区域
■ 浸水深(想定最大規模)	緊急輸送道路
■ 20.0m以上	第1次緊急輸送道路
■ 10.0~20.0m	第2次緊急輸送道路
■ 5.0~10.0m	その他主要道路
■ 3.0~5.0m	■ 高速道路
■ 2.0~3.0m	
■ 1.0~2.0m	
■ 0.5~1.0m	
■ 0.5m未満	

想定最大規模(L2)における浸水想定区域と土砂災害(特別)警戒区域及び急傾斜地崩壊危険区域の重ね合わせ図

■ 図 各種ハザードの重ね合わせ

(資料：土砂災害関連：愛知県砂防課、愛知県オープンデータ、洪水関連：木曾川上流河川事務所、愛知県河川課)



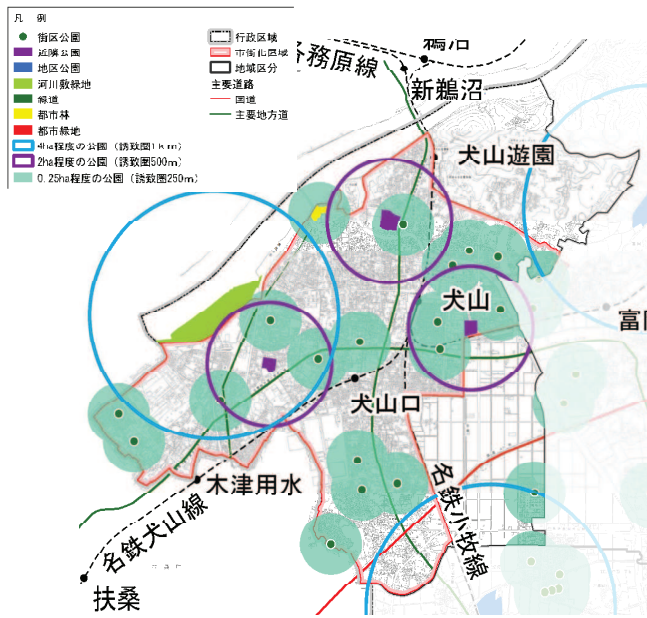
(資料：土砂災害関連：愛知県砂防課、愛知県オープンデータ、洪水関連：木曾川上流河川事務所、愛知県河川課)

●都市基盤（道路、公園緑地等）

- ・都市計画道路の整備状況は、他地域から中心市街地に連絡する幹線道路で未整備区間が多く見られますが、そのほとんどが現道の拡幅となります。
- ・都市公園の整備状況は、地域内のほとんどが公園誘致圏に含まれますが、市街化区域の一部で誘致圏外が見られます。



■図 犬山地域の道路整備状況



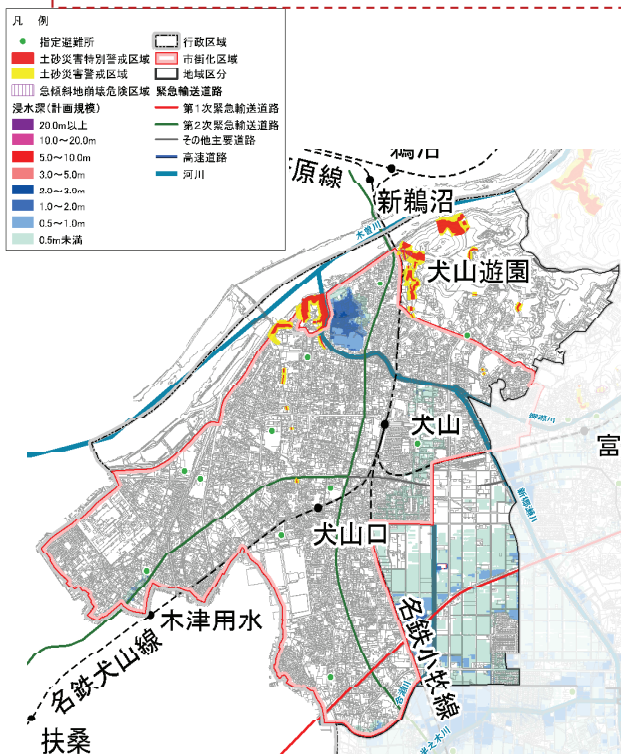
■図 犬山地域の公園整備状況

●災害リスク

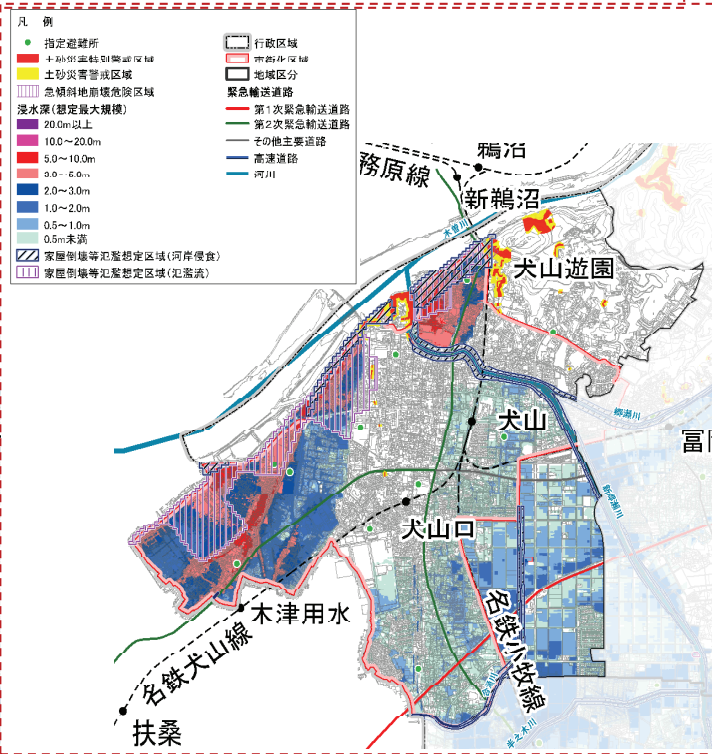
- ・土砂災害警戒（特別警戒）区域等は、地域北部の傾斜地において指定されています。
- ・洪水による浸水想定区域は、想定最大規模では、木曾川に近い一部地域で 5.0~10.0m の浸水が想定され、地域東部でも広範囲の浸水が想定されています。また、木曾川沿いの市街地において、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食・氾濫流）が広範囲に及んでいます。

（資料：犬山市）

（資料：犬山市）



■図 犬山地域のハザードマップ（計画規模）
（資料：国土数値情報、愛知県、犬山市）



■図 犬山地域のハザードマップ（最大想定規模）
（資料：国土数値情報、愛知県、犬山市）
地域別構想 80

●都市環境の視点

現況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域北部には木曾川が流れ、犬山城や城下町を有するなど、豊かな自然や歴史が調和した景観を有しています。 ・内田防災公園や木曾川犬山緑地といった比較的規模の大きな都市公園が分布していますが、市街化区域の一部で誘致圏外が見られます。 ・地域内には、犬山城や東之宮古墳といった歴史文化資源のほか、市役所や図書館、市民交流センターなど多くの公共公益施設が立地しています。
住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・タウンミーティングでは、『犬山城を中心とした歴史文化、木曾川』といった地域を代表する資源の活用に関する声が多く聞かれました。
主要課題	<p><代表的なランドマークである犬山城や木曾川の歴史・自然景観の活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬山城をはじめ城下町の歴史的町並みや名勝木曾川の自然景観を活かし、居住環境に配慮しながら、趣と賑わいが調和した歩きたくなるエリアの形成が必要です。 <p><伝統建造物、遺跡等と人々の営みが一体となった歴史的風致の維持・向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬山城や東之宮古墳を中心とした地域を代表する歴史文化資源は、そこに息づく文化・行事等とともに、周辺の景観や自然環境との調和に配慮しながら歴史的風致の維持・向上を図ることが必要です。 <p><公共施設の維持・整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な都市環境を形成する上で必要な公園緑地、下水道等を適切に維持管理しつつ、それらが必要な区域での整備が必要です。 ・既存の公共施設については、公共施設の再編や利活用といった方向性と整合しながら、施設の再整備や移転、統合、長寿命化等の対応が必要です。

●都市防災の視点

現況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域北部の傾斜地で土砂災害警戒（特別警戒）区域等が指定されており、一部の区域が住宅地に接しています。 ・1000年に1回程度で発生する確率の大雨による木曾川や郷瀬川、新郷瀬川の洪水により木曾川に近い一部地域で5.0～10.0mの浸水が想定され、地域東部の低地において広範囲の浸水が想定されています。また、木曾川沿いの市街地において、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食・氾濫流）が広範囲に及んでいます。
住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートでは、『自然災害への対策が十分されている』への評価が低い傾向にあり、タウンミーティングでも『災害状況を把握、新郷瀬川の整備』といったソフト・ハード両面での対策を求める声が聞かれました。
主要課題	<p><災害に強い地域づくりの実現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水による浸水や傾斜地の崩壊、地震による家屋倒壊、火災等の災害リスクに対して、行政と地域が連携し、地域の実情に応じた防災対策を講じることが必要です。

都市環境

主要課題① 代表的なランドマークである犬山城や木曾川の歴史・自然景観の活用

- 犬山城の眺望や城下町にふさわしい町並み景観の形成に向けて、建築物の高さや屋外広告物の規制などの検討を進めます。
- 木曾川については、各務原市との連携による良好な景観形成を図りつつ、河川沿いや緑道などの自転車・歩行者ネットワーク、水と緑のネットワークとして利活用を進めます。

主要課題② 伝統建造物、遺跡等と人々の営みが一体となった歴史的風致の維持・向上

- 犬山城や東之宮古墳を中心とした地域を代表する歴史文化資源は、そこに息づく地域固有の歴史、伝統を反映した人々の営みとともに、景観など周辺環境が一体となった歴史的風致等の維持・向上を図ります。

主要課題③ 公共施設の維持・整備

- 都市公園の魅力向上と身近な公園における地域が主体となった取り組みを推進します。
- 公共下水道（生活排水）計画区域において、坂下・上坂地区の未整備区域での整備を推進します。
- 今後の人口減少や施設の老朽化、厳しい財政状況に備え、個別施設計画に基づく公共施設の再編、長寿命化等を進めます。

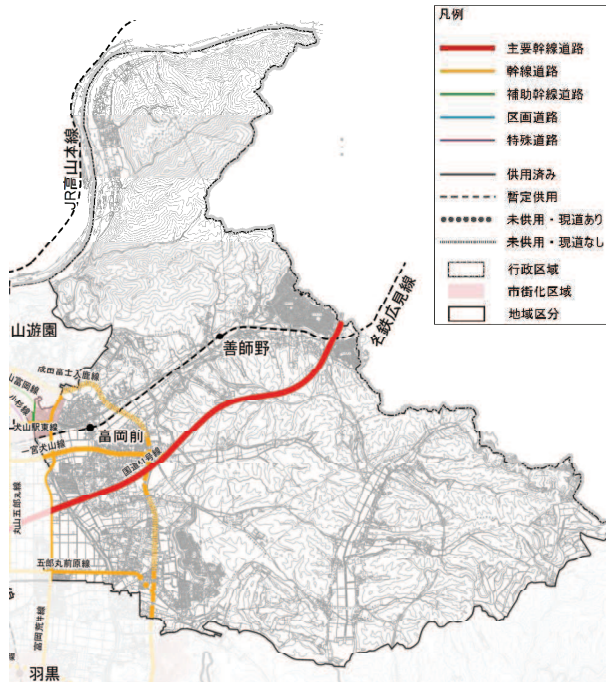
都市防災

主要課題① 災害に強い地域づくりの実現

- 災害に強い地域づくりに向けて、狭あい道路の解消や急傾斜地崩壊対策など都市基盤整備のほか、建築物などの耐震化を促進します。
- 災害リスクの低減に向けて、洪水による浸水や土砂流出などの緩衝帯となる農地・森林等を適切に保全します。
- 地域の住民や事業者が主体となった警戒避難体制の確保に向けて、ハザードマップ等による災害リスク情報の周知徹底や地域における避難訓練の実施などを支援します。
- 洪水により広範囲で家屋が倒壊・流失が想定される木曾川沿いの地域では、早期の避難行動につながる情報の充実や警戒避難体制の強化等を進めるとともに、被災することを想定した復興事前準備の検討を進めます。

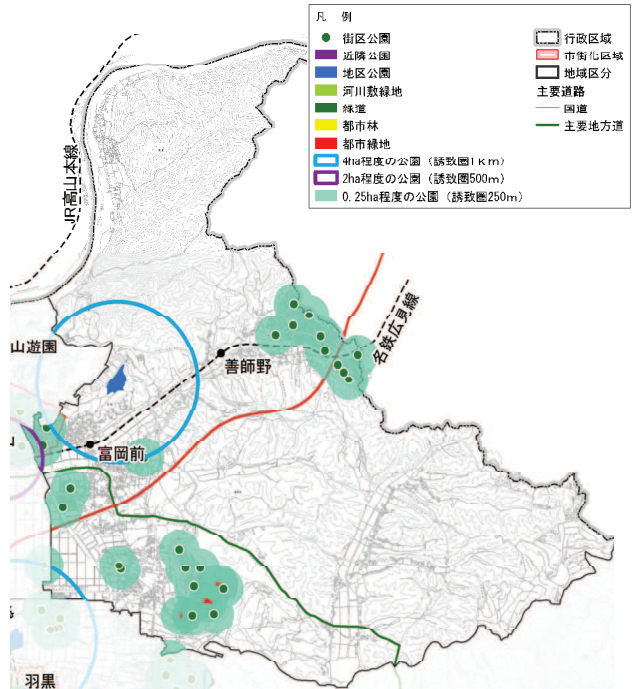
●都市基盤（道路、公園緑地等）

- ・都市計画道路の整備状況は、他地域から中心市街地に連絡する幹線道路で未整備区間が残っており、そのほとんどが新たに築造する道路となります。
- ・都市公園の整備状況は、地域内の住宅団地は公園誘致圏に含まれますが、集落地で誘致圏外が多く見られます。



■図 城東地域の道路整備状況

(資料：犬山市)

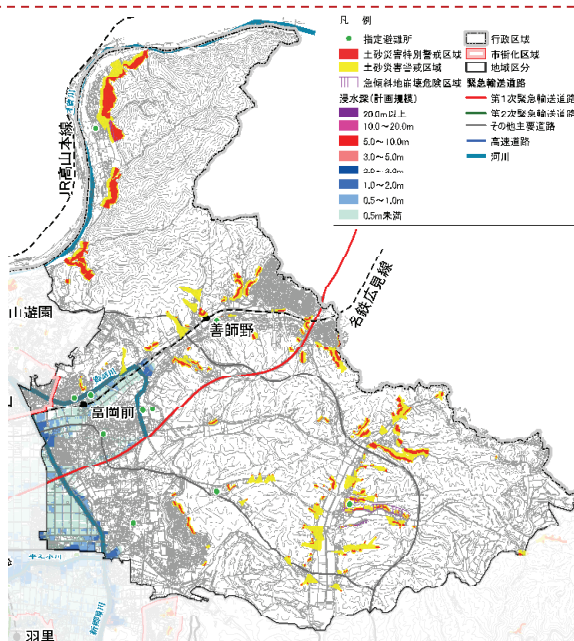


■図 城東地域の公園整備状況

(資料：犬山市)

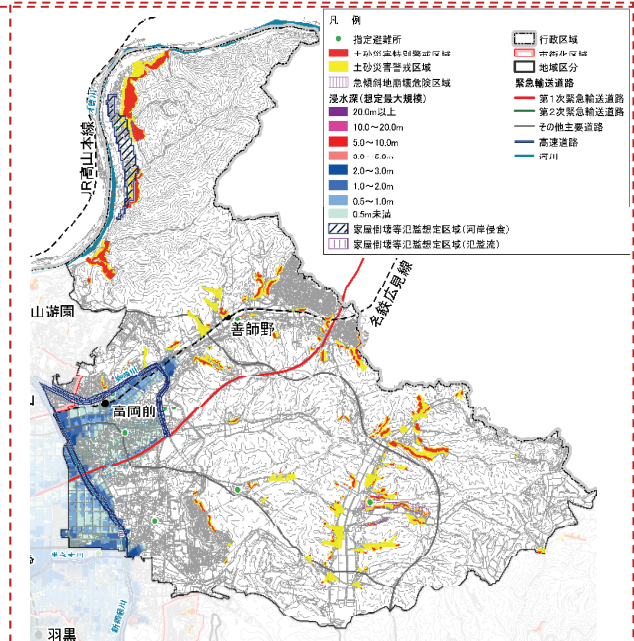
●災害リスク

- ・丘陵部における傾斜地の多くで、土砂災害警戒（特別警戒）区域等が指定されています。
- ・計画規模、想定最大規模ともに、地域南西部で浸水が想定されます。ま
- ・木曾川沿いの集落地（栗栖地区）において、河岸侵食による家屋倒壊等氾濫想定区域が広範囲に及んでいます。



■図 城東地域のハザードマップ（計画規模）

(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市)



■図 城東地域のハザードマップ（最大想定）

(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市)
地域別構想 95

●都市防災の視点

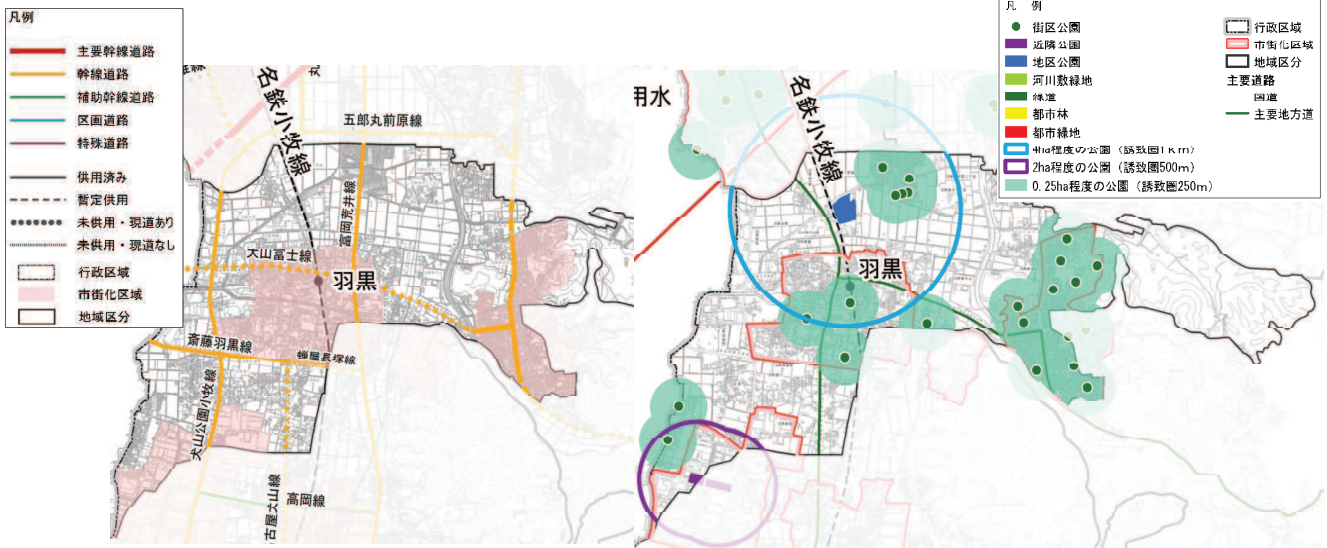
<p>現況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・丘陵部における傾斜地の多くで、土砂災害警戒（特別警戒）区域等が指定されており、一部の区域が住宅地に接しています。 ・郷瀬川、新郷瀬川の洪水により、地域南西部の低地において3.0m未満の浸水が想定されています。 ・木曾川沿いの集落地（栗栖地区）において、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）が広範囲に及んでいます。
<p>住民ニーズ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『自然災害への対策が十分されている』への評価が低い傾向にあり、タウンミーティングでは、『土砂崩れしない道路を整備』といった土砂災害への対策を求める声が聞かれました。
<p>主要課題</p>	<p><災害に強い地域づくりの実現></p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水による浸水や傾斜地の崩壊、地震による家屋倒壊、火災等の災害リスクに対して、行政と地域が連携し、地域の実情に応じた防災対策を講じる必要があります。

主要課題① 災害に強い地域づくりの実現

- 災害に強い地域づくりに向けて、河川改修や避難スペースの確保など都市基盤整備のほか、建築物などの耐震化を促進します。
- 災害リスクの低減に向けて、洪水による浸水や土砂流出などの緩衝帯となる農地・森林等を適切に保全します。
- 地域の住民や事業者が主体となった警戒避難体制の確保に向けて、ハザードマップ等による災害リスク情報の周知徹底や地域における避難訓練の実施などを支援します。
- 洪水により広範囲で家屋が倒壊・流失が想定される木曾川沿いの地域では、早期の避難行動につながる情報の充実や警戒避難体制の強化等を進めるとともに、被災することを想定した復興事前準備の検討を進めます。

●都市基盤（道路、公園緑地等）

- ・都市計画道路の整備状況は、他地域から中心市街地に連絡する幹線道路で未整備区間が多く残っており、そのほとんどが現道の拡幅となりますが、一部の区間では現道のない未整備区間が残っています。
- ・都市公園の整備状況は、市街化区域内のほとんどが公園誘致圏に含まれますが、市街化区域の一部や集落地で誘致圏外が見られます。



■図 羽黒地域の道路整備状況

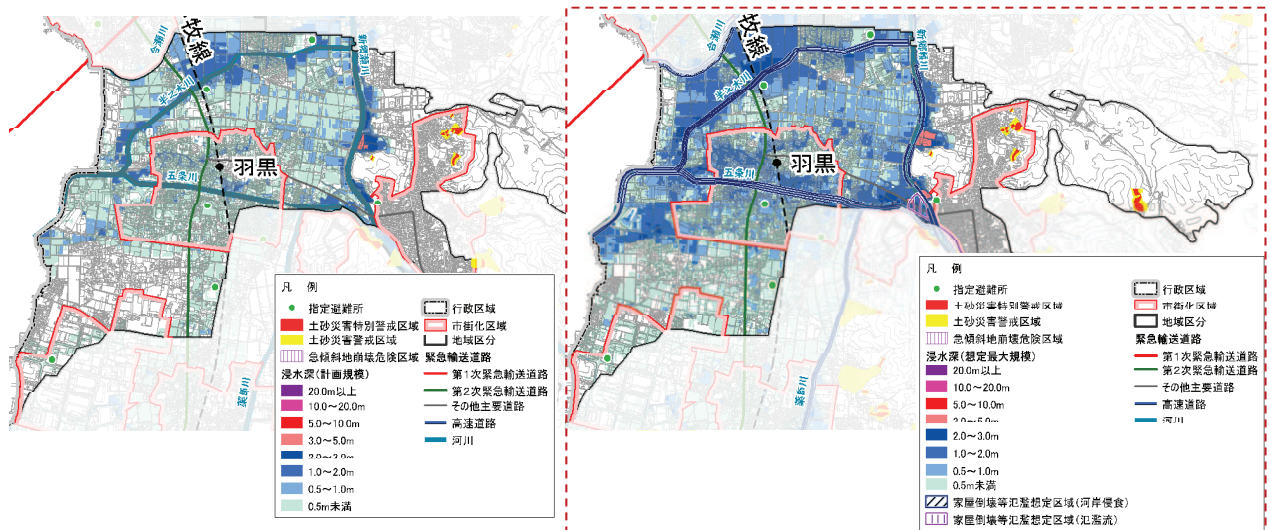
(資料：犬山市)

■図 羽黒地域の公園整備状況

(資料：犬山市)

●災害リスク

- ・土砂災害警戒（特別警戒）区域等は、地域東部の傾斜地において指定されています。
- ・浸水想定区域は、計画規模、想定最大規模ともに、羽黒駅周辺の市街地やその周辺の農地で浸水が想定されます。



■図 羽黒地域のハザードマップ（計画規模）

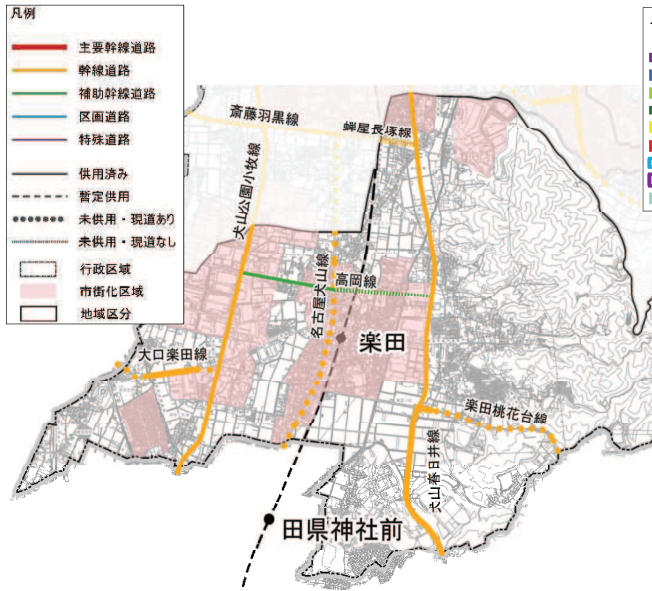
(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市)

■図 羽黒地域のハザードマップ（想定最大規模）

(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市)

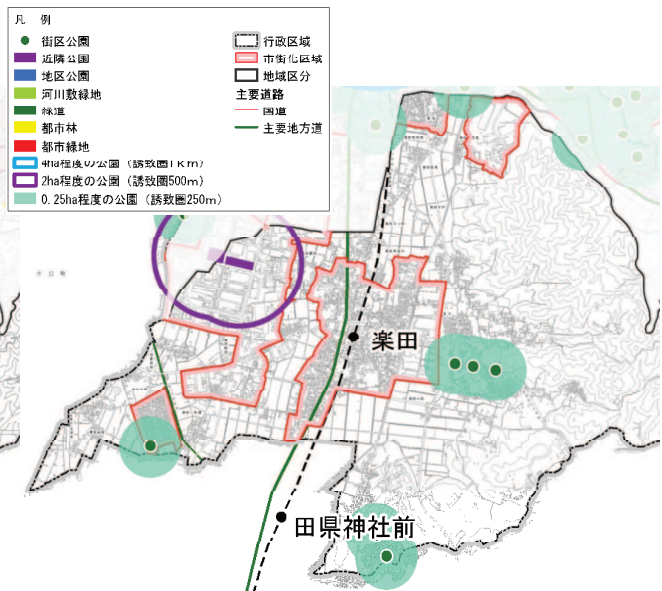
●都市基盤（道路、公園緑地等）

- ・都市計画道路の整備状況は、他地域から中心市街地に連絡する幹線道路で未整備区間が多く残っており、そのほとんどが現道の拡幅となりますが、地域内の交通を処理する補助幹線道路では現道のない未整備区間が残っています。
- ・都市公園の整備状況は、工業団地や住宅団地のほとんどが公園誘致圏に含まれますが、市街化区域や集落地等で誘致圏外が多く見られます。



■図 楽田地域の道路整備状況

(資料：犬山市)

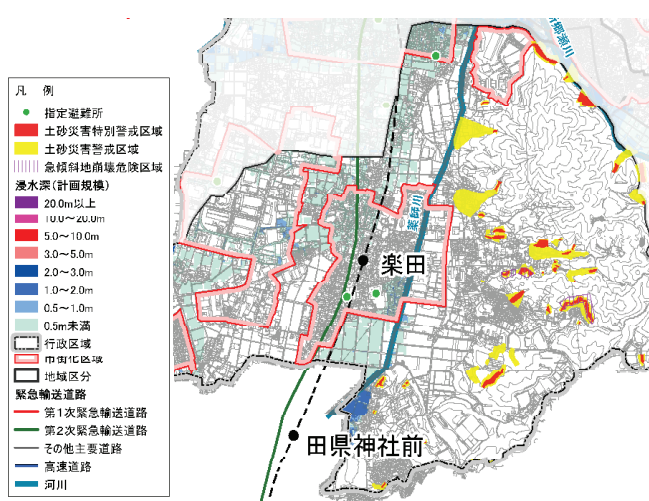


■図 楽田地域の公園整備状況

(資料：犬山市)

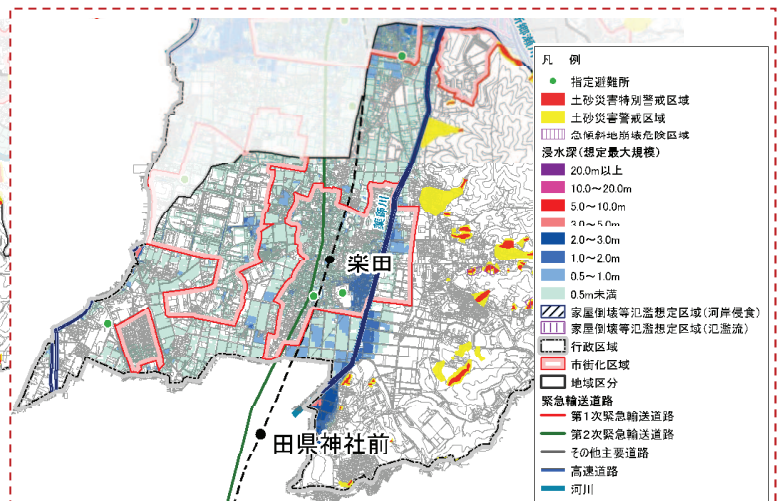
●災害リスク

- ・土砂災害警戒（特別警戒）区域等は、地域東部の傾斜地において指定されています。
- ・浸水想定区域は、計画規模において市街地周辺の農地や工業団地の一部で浸水が想定され、想定最大規模では楽田駅周辺の市街地においても浸水が想定されます。



■図 楽田地域のハザードマップ（計画規模）

(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市)

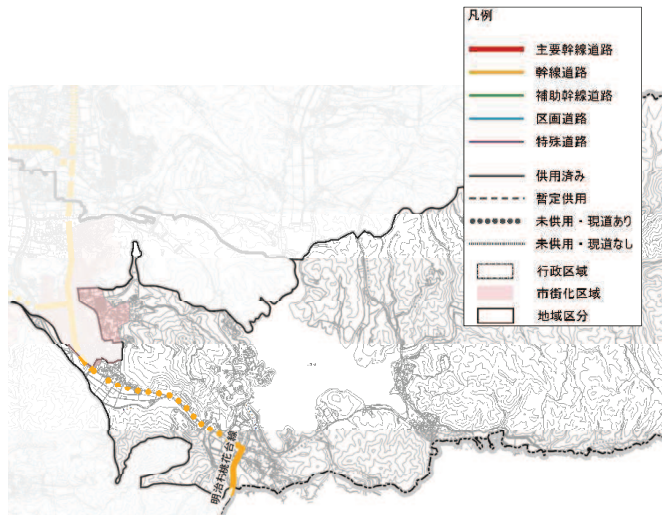


■図 楽田地域のハザードマップ（最大想定規模）

(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市)

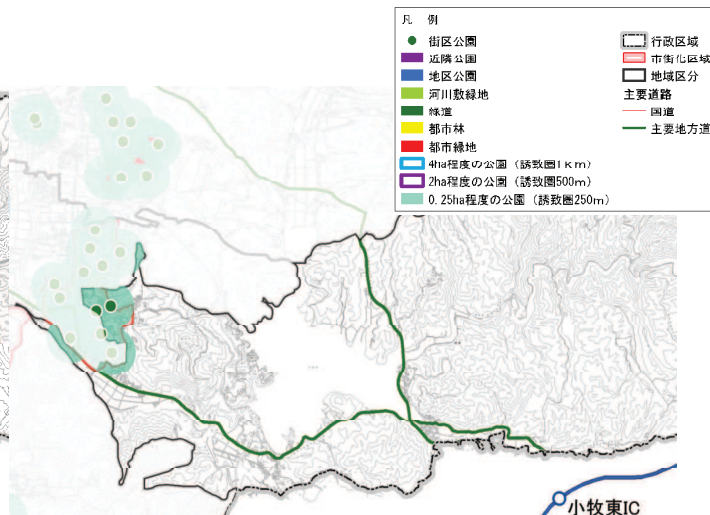
●都市基盤（道路、公園緑地等）

- ・都市計画道路の整備状況は、他地域から中心市街地に連絡する幹線道路で未整備区間が多く見られますが、そのほとんどが現道の拡幅となります。
- ・市街化区域においては、ほとんどが公園誘致圏に含まれます。
- ・市街化調整区域においては、都市公園は整備されていません。



■図 池野地域の道路整備状況

(資料：犬山市)

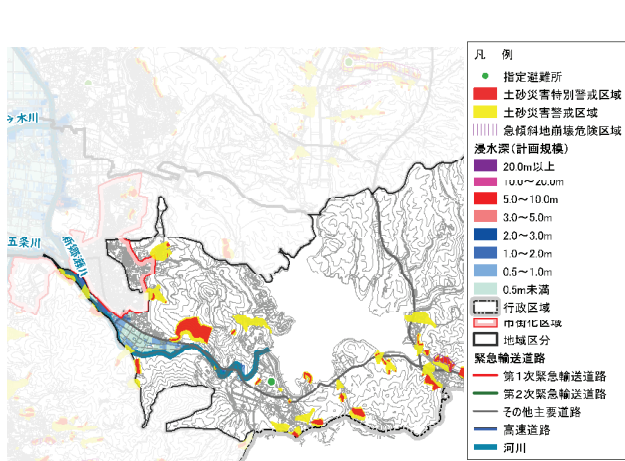


■図 池野地域の公園整備状況

(資料：犬山市)

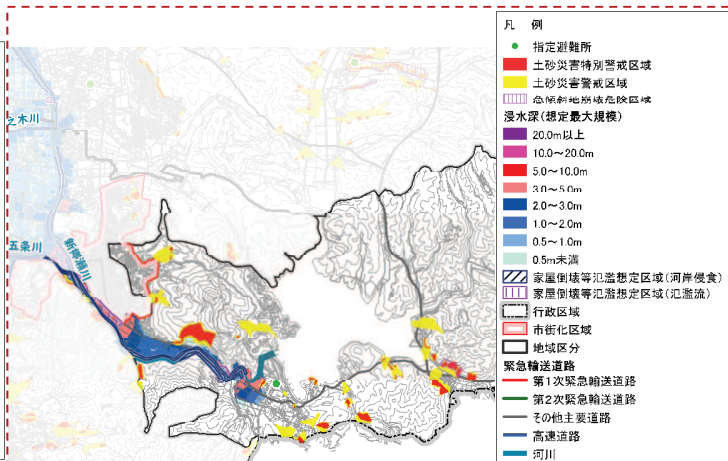
●災害リスク

- ・土砂災害警戒（特別警戒）区域は、入鹿池周辺と地域西部を中心に指定されています。
- ・浸水想定区域は、計画規模、想定最大規模ともに、地域西部の新郷瀬川沿いで浸水が想定されます。



■図 池野地域のハザードマップ（計画規模）

(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市)




■図 池野地域のハザードマップ（想定最大規模）

(資料：国土数値情報、愛知県、犬山市)

犬山市緑の基本計画 (素案)

差し替えページ

 = 修正箇所

(白紙ページ)

4 総合的な緑の配置方針図

緑が持つ環境保全機能、防災機能、景観形成機能、レクリエーション機能の各系統別の緑の配置方針に基づき、総合的な緑の配置方針図を示します。

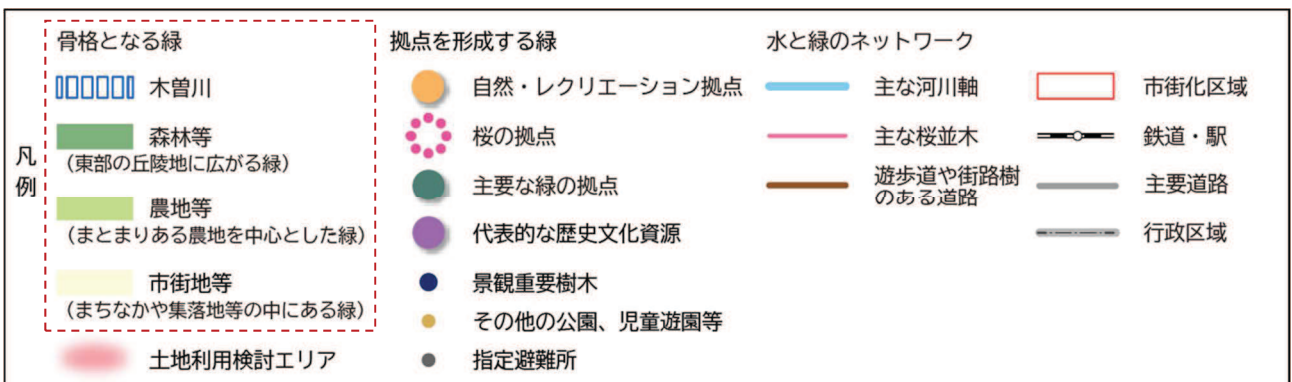


図 総合的な緑の配置方針図